

# 生石の野鳥



NPO法人 生石山の大草原保存会

# 野鳥の種類を知ろう！

## 1. いつごろ出会ったか？

季節によって種類を絞ることが出来ます。

雌雄・季節・年齢によって羽の色が変わります。

- 留鳥** 1年中いる野鳥
- 漂鳥** 日本国内を季節で移動する野鳥
- 冬鳥** 冬に日本へやって来る野鳥
- 夏鳥** 夏に日本へやって来る野鳥
- 旅鳥** 季節の変わり目に日本を通過していく野鳥
- 迷鳥** 台風などで運ばれてくる野鳥

# 野鳥の種類を知ろう！

## 2. どこで出会ったか？

出会った場所(都道府県名)や環境で、  
絞り込むことができます。

海に棲む鳥

水辺に棲む鳥

山野に棲む鳥

高山に棲む鳥

# 野鳥の種類を知ろう！

## 3. どんな大きさだったか？

年中見かけることが出来る留鳥を物指として、  
出会った野鳥の大きさを推定します。

スズメ	14cm
ヒヨドリ	28cm
ドバト	39－35cm
カラス	50－57cm

「スズメより大きくヒヨドリより小さい」と言ったように、出会った野鳥の大きさを推定できます。

生石の野鳥 1

**ヤマガラ** (留鳥) 14cm スズメ目シジュウカラ科



雌雄同色

生石で最も多い野鳥

人に馴れ易く、餌場の常連。手にも載って来る。

生石の野鳥 2

**シジュウカラ** (留鳥) 15cm スズメ目シジュウカラ科



雌雄ほぼ同色  
平地では多い  
が、生石では  
やや少ない

生石の野鳥 3

**ヒガラ** (留鳥または漂鳥) 11cmスズメ目シジュウカラ科



雌雄同色

生石で見かける  
機会は、やや  
少ない

生石の野鳥 4

**ゴジュウカラ** (留鳥) 14cm スズメ目ゴジュウカラ科



雌雄同色

標高1200m  
以上に生息す  
るといわれ、  
生石では例外的  
的存在。

野鳥荘へやっ  
て来たのは若  
鳥で、繁殖し  
たらしい。



生石の野鳥 5

**エナガ** (留鳥または漂鳥) 14cm スズメ目エナガ科



雌雄同色

生石では時々  
出会う

集団で行動し、  
じっとしていない

生石の野鳥 6

**メジロ** (留鳥または漂鳥) 12cm スズメ目メジロ科



雌雄同色

生石では時々  
出会う

生石の野鳥 7

**スズメ** (留鳥) 14cm **スズメ目ハタオリドリ科**



雌雄同色

生石では冬は  
少数

まだ出会って  
いないが、頬  
に黒頬のない  
のはニューナ  
イスズメで別  
種(鈴鹿以東  
で生息)

生石の野鳥 8

**ウグイス** (留鳥) 14~16cm スズメ目ウグイス科



雌雄同色

生石では多い  
野鳥

日本三鳴鳥の  
一種

(他は、オオル  
リ、コマドリ)

生石の野鳥 9

**センダイムシクイ**(夏鳥)14cm **スズメ目ウグイス科**



生石は通過するだけ。

会えるのはワンチャンスです。

生石の野鳥 10

**メボソムシクイ** (夏鳥) 13cmスズメ目ウグイス科



生石は通過するだけ。

だが、会えるチャンスは、センダイムシクイより多い。

生石の野鳥 11

**セツカ** (留鳥または漂鳥) 13cm スズメ目ウグイス科



雌雄同色、雌は色が薄い。雄はハーレムを作る習性がある。

生石高原には夏にやってきて天空を鳴きながら飛ぶ。草原で繁殖する。

生石の野鳥 12

**キクイタダキ** (留鳥または漂鳥・生石では冬鳥)  
10cm スズメ目ウグイス科



雌雄ほぼ同色

H24年11月、  
和歌山各地に  
飛来。生石で  
も確認できた。

赤松につく虫  
を好む。

日本で2番目  
に小さい野鳥



生石の野鳥 11

**ヒバリ** (留鳥) 17cm スズメ目ヒバリ科



雌雄同色

生石高原の天  
空を鳴きなが  
ら飛ぶ。

生石の野鳥 12

**カヤクグリ** (漂鳥) 14cm スズメ目イワヒバリ科



雌雄同色

鈴鹿以東に生息。寒くなると生石高原に飛来。

鈴虫の鳴き声のような美声の持ち主

生石の野鳥 13

**モズ** (留鳥または漂鳥) 20cm スズメ目モズ科



雌雄ほぼ同色

(雄の方がやや鮮やか)

秋になると里に下りる。生石では夏に出会うことが多い

生石の野鳥 14

**ヒヨドリ** (留鳥)26cm スズメ目ヒヨドリ科



雌雄同色

どこにでもい  
る野鳥。

よく見れば、  
結構可愛い

人に馴れる場  
合もある

生石の野鳥 15

**ムクドリ** (留鳥)24cm スズメ目ムクドリ科



雌雄同色  
どこにでもい  
る野鳥。

生石の野鳥 16

**セグロセキレイ** (留鳥)21cm スズメ目セキレイ科



写真は雄  
水田や川辺な  
ど、水のある  
ところでよく出  
会う

生石の野鳥 17

**ハクセキレイ**

(留鳥または漂鳥) 21cm  
ズズメ目セキレイ科



水田や川辺など、水のあるところでよく出会う。

関西では、感覚的には「冬鳥」で夏場に出会うことはない。

生石の野鳥 18

**キセキレイ** (留鳥または漂鳥) 20cm  
スズメ目セキレイ科



写真は雄  
水田や川辺など、水のある  
ところでよく出  
会う。

関西では少ないが、中国地  
方以西では多  
い。



生石の野鳥 19

**ハシボソガラス** (留鳥)50cm スズメ目カラス科



雌雄同色

普通に見る2  
種類のカラス  
の1種。

嘴が細く、や  
や小型

生石の野鳥 20

**ハシブトガラス** (留鳥)57cm **スズメ目カラス科**



雌雄同色

普通に見る2  
種類のカラス  
の1種。

嘴が太く、や  
や大型

生石の野鳥 21

**カケス** (留鳥) 38cm スズメ目カラス科



雌雄同色

カラスとは思えない美しい鳥。比較的標高の高いところに棲み、生石には多い。

鳴き声はカラスに近い

生石の野鳥 22

**アトリ** (冬鳥) 16cm スズメ目アトリ科



雌雄同色  
群れで行動する。  
生石では少ない野鳥

生石の野鳥 23

**イカル** (冬鳥)23cm スズメ目アトリ科



雌雄同色

古代、斑鳩の里で多くみられたことからこの名がある。

群れで行動することが多く、冬鳥だが、生石で7月に出会ったことがある。

## 生石の野鳥 24

**ウツ** (冬鳥) 16cm スズメ目アトリ科



写真は雄。雌はこれ程赤くはない。

ウツギの実を好む。生石では多いので、出会う機会も多い。

生石の野鳥 25

**アカウソ** (冬鳥) 16cm スズメ目アトリ科



ウソの亜種  
ウソより赤み  
が多く、標高  
の高いところ  
を好むようで、  
生石ではアカ  
ウソが多い。  
ウツギの実を  
好む。生石で  
は多いので、  
出会う機会も  
多い。

## 生石の野鳥 26

**シメ** (冬鳥) 19cm スズメ目アトリ科



写真は雌。雄はもう少し色鮮やか。

悪相だが、硬い殻を持つ実を好む穏健派。

生石では、出会う機会も多い



生石の野鳥 27

**オオマシコ** (冬鳥) 17cm スズメ目アトリ科



雄は写真のよ  
うに美しい。雌  
はこれ程赤く  
はない。

イタドリの実を  
好む。

イタドリのある  
ところで群れ  
で出会うこと  
が多い。

生石の野鳥 28

**マヒワ** (冬鳥) 16cm スズメ目アトリ科



雌雄同色

大きな群れで  
行動する。10  
0羽を超える  
ことも珍しくな  
い。

秋楡の実を好  
む

生石の野鳥 29

**カワラヒワ** (留鳥) 15cm スズメ目アトリ科



雌雄同色

群れで行動する。

留鳥であるが、生石では夏に多く、秋には姿を消す。

ヤマガラを蹴散らすワイルドな野鳥

生石の野鳥 30

**ホオジロ** (留鳥) 17cm スズメ目ホオジロ科



雌雄ほぼ同色。  
写真は雄。雌  
はやや色が薄  
い。

生石高原でよ  
く出会う。

春に「一筆啓  
上仕り候」と鳴  
く声は、きわ  
めて美声

生石の野鳥 31

**ミヤマホオジロ** (冬鳥) 16cm **スズメ目ホオジロ科**



写真は雄。雌は地味。

別名「貴公子」と呼ばれる美しい野鳥

生石高原では少ない。

生石の野鳥 32

**アオジ** (冬鳥) 16cm スズメ目ホオジロ科



雌雄同色。

生石では、別荘地の森に多い。

地面で捕食。  
人馴れしやすい

生石の野鳥 33

**オオジュリン** (留鳥) 16cm スズメ目ホオジロ科



雌雄ほぼ同色。  
夏冬で羽の色  
が変わる(写  
真は雄冬羽)。  
雌はやや色が  
薄い。

11月、生石高  
原では、初め  
て出会った。

生石の野鳥 34

**カシラダカ** (冬鳥) 16cm **スズメ目ホオジロ科**



雌雄ほぼ同色。  
カムリ羽が  
特徴。

地面で捕食す  
る。



## 生石の野鳥 35

# ツグミ (冬鳥)24cm スズメ目ツグミ科



雌雄同色。

かつて「最も美味しい焼鳥」と言われたそうだが、食したことはない。いまは捕獲禁止。年により大量発生し公害となることもある。

生石の野鳥 36

**クロツグミ** (夏鳥)22cm **スズメ目ツグミ科**



雌雄別色。

極めて美声で、  
生石の夏を代  
表する野鳥。

だが姿を見る  
ことは殆どで  
きない。

生石で繁殖す  
る。

生石の野鳥 37

**シロハラ** (冬鳥)25cm スズメ目ツグミ科



雌雄ほぼ同色。  
地面で捕食する。

生石の野鳥 38

**ジョウビタキ** (冬鳥) 14cm **スズメ目ツグミ科**



雌雄別色。  
写真は雌。  
笠石でジョウ  
ビタキに会うと  
は思ってもい  
なかった。

生石の野鳥 39

**ルリビタキ** (関西では冬鳥) 14cm スズメ目ツグミ科



雌雄別色(雌は地味)。

写真は雌。

とても美しい野鳥。

生石の野鳥 40

**ノビタキ** (夏鳥) 20cm スズメ目ツグミ科



夏冬・雌雄・若鳥・成鳥で色が違うが、生石で全て見ることはできない

生石の野鳥 41

**キビタキ** (夏鳥) 14cm スズメ目ヒタキ科



雌雄別色(雌は地味)。

極めて美声で、生石ではクロツグミと共演する。

縄張りを持ち、極めて攻撃的。

生石で繁殖する。

生石の野鳥 42

**コサメビタキ** (夏鳥) 13cm スズメ目ヒタキ科



雌雄同色。

生石では珍しい。

※サメビタキ  
と思われる野鳥  
に出会ったが、  
確認できず。



生石の野鳥 43

# オジロビタキ

(旅鳥または冬鳥) 13cm

スズメ目ヒタキ科



雌雄同色(写真  
は冬羽)。  
生石では珍  
しい。

生石の野鳥 44

**オオルリ** (夏鳥) 16cm スズメ目ヒタキ科



日本三鳴鳥の  
一種。

とても美しい  
野鳥で、生石  
で繁殖する

生石の野鳥 45

**サンコウチョウ** (夏鳥) **ズズメ目カササギヒタキ科**  
**♂45cm ♀18cm**



雌雄はまるで  
違う。

雄は尾羽の長  
さが特徴。

「森のパン屋  
さん」付近で  
営巣が確認さ  
れた。

生石の野鳥 46

**サンショウクイ**(夏鳥)20cm **スズメ目サンショウクイ科**



雌雄ほぼ同色。

生石では、夏の終わりごろの移動で、出会うことができる。

生石の野鳥 47

**コゲラ** (留鳥) 15cm スズメ目キツツキ科



雌雄ほぼ同色。

キツツキの仲間では最も小さい。

生石では良く出会う野鳥。

生石の野鳥 48

**アオゲラ** (留鳥) 29cm スズメ目キツツキ科



雌雄ほぼ同色。  
日本固有種の  
キツツキ。  
生石で繁殖す  
る。

生石の野鳥 49

**アカゲラ** (留鳥)24cm スズメ目キツツキ科



雌雄ほぼ同色。  
生石で繁殖する。

生石の野鳥 50

**オオアカゲラ** (留鳥)28cm **スズメ目キツツキ科**



雌雄ほぼ同色。

アカゲラより  
大きく、より赤  
い。

生石で繁殖す  
る。



生石の野鳥 51

**キバシリ** (留鳥) 11cm スズメ目キバシリ科



雌雄同色。

高山に棲む野鳥で、生石では珍しい。

高速で木を下り降りる特技を持っている。

生石の野鳥 52

**ツバメ** (夏鳥) 17cm スズメ目ツバメ科



生石の野鳥 53

# アマツバメ

(夏鳥) 19-20cm・翼開長43-48cm

アマツバメ目アマツバメ科



生態が良く分かっていない。

一般的には2000m以上の高山で生息。ただ、生石のように岩場があれば標高500mでも観察される。

飛びながら寝むり、滅多に下りない。

生石の野鳥 54

# アカショウビン

(夏鳥)27cm

ツポウノウ目カワセミ科



雌雄同色。

とても珍しい  
野鳥で、野鳥  
ファンなら垂涎  
の的。

今年、生石の  
別荘地で繁殖  
したと思われる  
が、確認でき  
ず。

生石の野鳥 55

**カワセミ** (留鳥) 17cm フツポウソウ目カワセミ科



雌雄ほぼ同色。  
市街地でも見  
かけることが  
できる美しい  
水辺の野鳥。  
生石では、別  
荘地の水源地  
で見ることが  
できる。

生石の野鳥 56

**カイツブリ** (留鳥)26cm カイツブリ目カイツブリ科



身近な水鳥。  
生石の別荘地の池で見ることが  
できる。

生石の野鳥 57

**オシドリ** (冬鳥)45cm カモ目カモ科



雌雄別色(雌は地味)。

生石の別荘地の池で見ることが出来る。

※この池では、まだカモ類がいるかもしれない。

生石の野鳥 58

**フクロウ** (留鳥) 50cm フクロウ目フクロウ科



数は少ないが  
生息する。

生石で、幼鳥  
が保護された  
事例もある  
(後に自然へ  
帰っている)。



生石の野鳥 59

**キジバト** (留鳥)33cm ハト目ハト科



雌雄同色。

ビジョンミルクがあるため、繁殖時期を問わない。

山野で多く棲息するハト。

俗に「山鳩」と呼ばれるもの。

生石の野鳥 60

**アオバト** (留鳥) 33cm ハト目ハト科



雌雄ほぼ同色。  
声は聞けるが、  
姿は容易に見えない。

サクランボが  
好物で、この  
時期なら出会  
える可能性は  
高い。

## 生石の野鳥 61

# ヤマドリ (留鳥) ♂ 125 - ♀ 55cm キジ目キジ科



雌雄ほぼ同色。尾羽の長さが雌雄で大きく違う。

生石では多く棲息しているが、案外出会えない。

繁殖期には攻撃的になるため、出会う可能性は高くなる。

生石の野鳥 62

**ウズラ** (留鳥)20cm キジ目キジ科



かつて、狩猟対象として許可されていた鳥獣だが、今は禁止されている。

野生のウズラに出会う機会は少ない。別荘地の道路で、突然出会った。

生石の野鳥 63

**カッコウ** (夏鳥)35cm カッコウ目カッコウ科



雌雄同色。

高山に棲み、托卵する4種のうち1種。

木のとっぺんで鳴き、5月の生石を代表する野鳥

生石の野鳥 64

**ツツドリ** (夏鳥) 33cm カッコウ目カッコウ科



雌雄ほぼ同色。

高山に棲み、托卵する4種のうち1種。

火縄銃の筒音のように鳴く。枝の中ほどに止まることが多く、鳴き声の割には姿は見つけずらい。

生石の野鳥 65

**ホトトギス** (夏鳥)28cm カッコウ目カッコウ科



雌雄同色。

平地から高山に棲み、托卵する4種のうち1種。

鳴き声は「てっぺん駈けたか」として知られる。

鳴きながら飛ぶことが多く、静止した姿は見つけ辛い。

生石の野鳥 66

**ヤマシギ** (冬鳥) 33-35cm チドリ目シギ科



雌雄同色。

レアな野鳥で、生石で観察できることはあまり知られていないのではないかな。

第2駐車場で夕方に見かけることが多いそうです。



## 生石の野鳥 67

# トビ (留鳥) 60cm タカ目タカ科



雌雄同色。

大型のタカなのに「トンビがタカを生む」と差別される。

その理由は、死肉をあさり、別名「掃除屋」と言われるからだろう。

生石の野鳥 68

**ハチクマ** (夏鳥) 55cm タカ目タカ科



雌雄ほぼ同色。

生石では赤松に  
営巣する。

ハチの幼虫や蛹  
を好んで食べる。  
クロスズメバチ、  
オオスズメバチな  
どのジバチ類と呼  
ばれる地面に巣を  
作るものを好む。

生石の野鳥 69

**ハイタカ** (留鳥) 39cm タカ目タカ科



雌雄同色。

生石では良く出会う小型のタカ。

主にツグミくらいまでの小鳥をとるが、ネズミやリス、ヒミズなどを捕らえる事もある。

生石の野鳥 70

**サシバ** (夏鳥) 49cm タカ目タカ科



ヘビ、ニホントカゲ、  
カナヘビ、キリギリス  
などのバッタ、ヒ  
ヨドリ、トノサマガ  
エルなどのカエル  
などを食べる。

## 生石の野鳥 71

**ツミ** (夏鳥) ♂27cm ♀30cm **タカ目タカ科**



待ち伏せ型の狩りが主流。

昆虫類をたくさん食べるが、野鳥を主に襲う。

自分より大きな獲物を狙うこともあり、持ち去ることができないため、捕獲した場所で食べる。